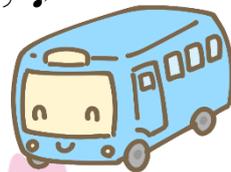


さくらはうす

は、大津市南部の膳所駅近くに位置する大津市立やまび総合支援センター内にあり、大津市の委託次行として運営されている事業所です。

ロケーションが最高で比叡山や三上山、ちょこっとですが湖も見る琵琶ことができます。JRの線路沿いにある建物なので、勢いよく新快速が走行するのも日常の景色です♪

大津市は南北が琵琶湖を挟んで離れていますので送迎バスが走行していてエリアも広いのが特徴です。一日約40名の利用者が大津市内からバス送迎で通ってこられます。



利用者の約4割が重症心身障害者の方、約6割（うち3割が強度行動障害）が知的障害の方です。重症心身障害者の方のうち、何らかの医療的ケアが必要な方は約5割です。



ここで看護師チームを紹介します。

さくらはうすでは、9名の看護師が働いています。年代は30～60代と幅があり、これまでの経験も様々のメンバーです。私たち看護師は、主に医療的ケアが必要な利用者を担当しますが、それ以外の利用者を担当することももちろんあります。月1回の看護会議はもちろん、何か困ったことや利用者のケアで迷った時に、皆でいろいろと話し合い決めていきます。普段からスタッフ間のやり取りで「ありがとう」「大丈夫だよ」という言葉が多く、このチームの魅力はひとこと言うなら【温かさ】だと思っています！毎日、利用者が元気に来所し元気に帰ることができるように私たちはチームとなってこれからも関わってまいります。

ここで働く私たち9名、「さくらはうすで働いて良かったな」



「重症児者看護をやってよかったな」

と思えることを毎日つみあげています。

